

「WF関連文献エビデンスの解説」

晴佐久悟（学術編集副委員長）

WF導入による歯科医師収入減少仮説

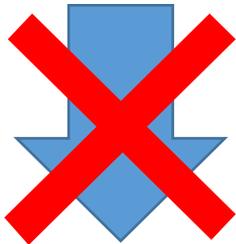
歯科医師 loss

国民 win

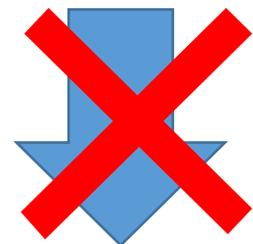
水道水フッ素化



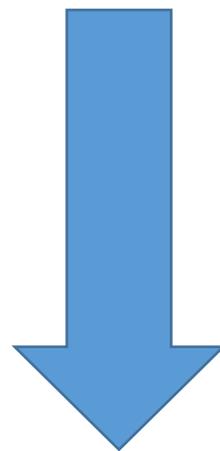
う蝕が減る → 歯の寿命が延びる



治療する歯が減る

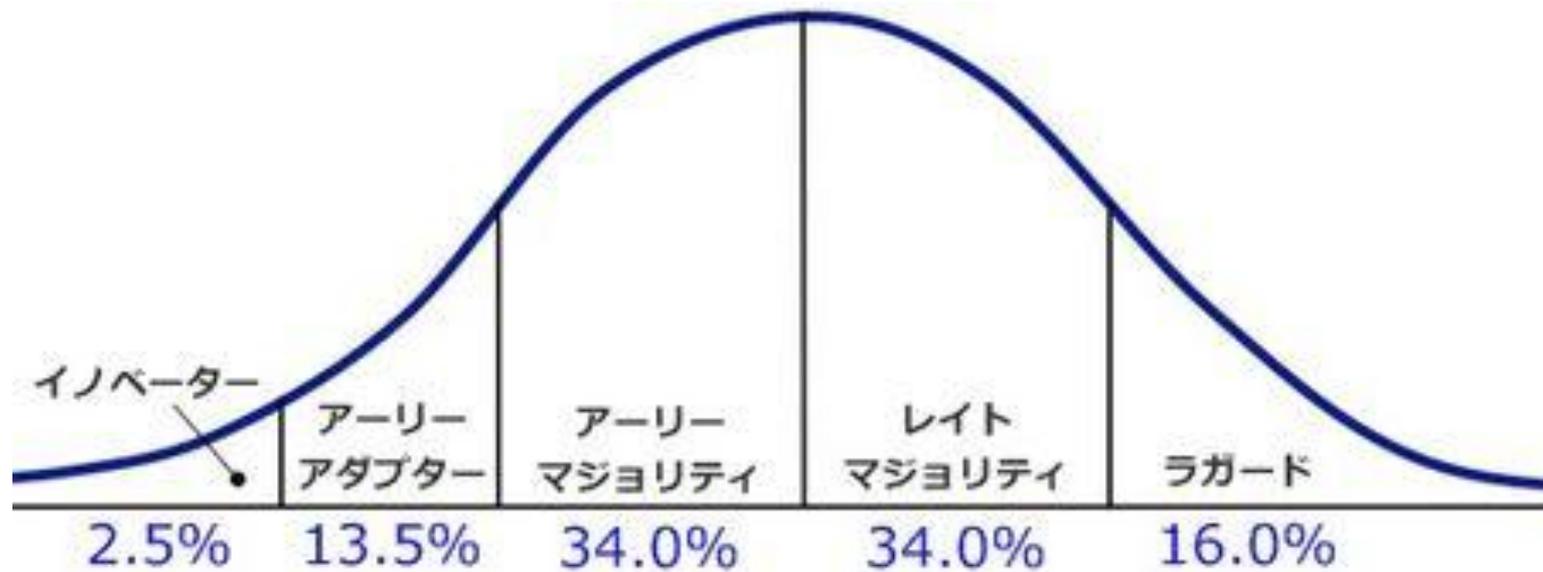


収入が減る



予防、治療する歯、
歯周組織が増える

イノベーター理論における5つのグループ

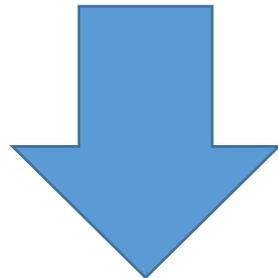




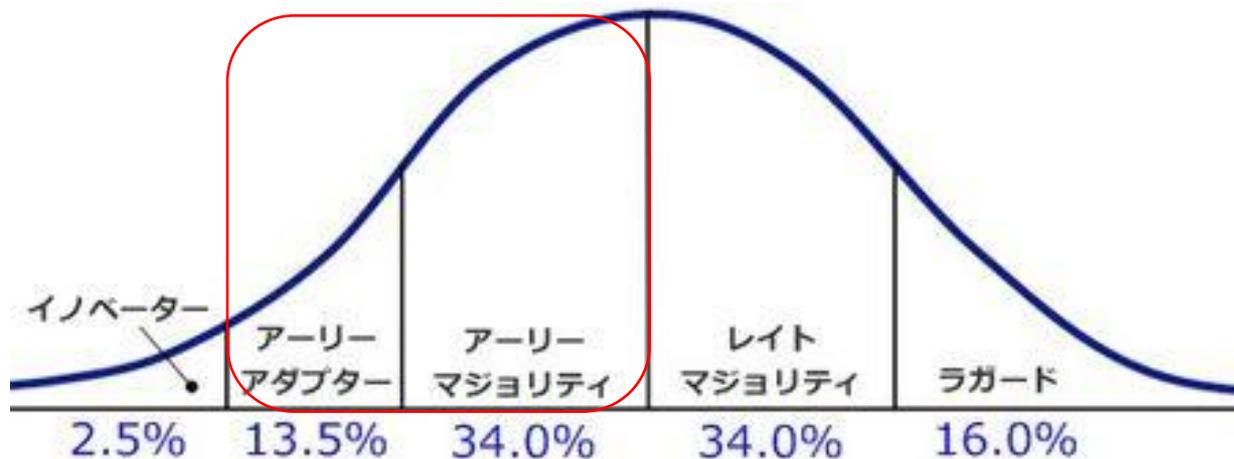
WF導入に関する歯学生レポート

WF導入による歯科医師収入減少仮説

歯科医師 loss
国民 win



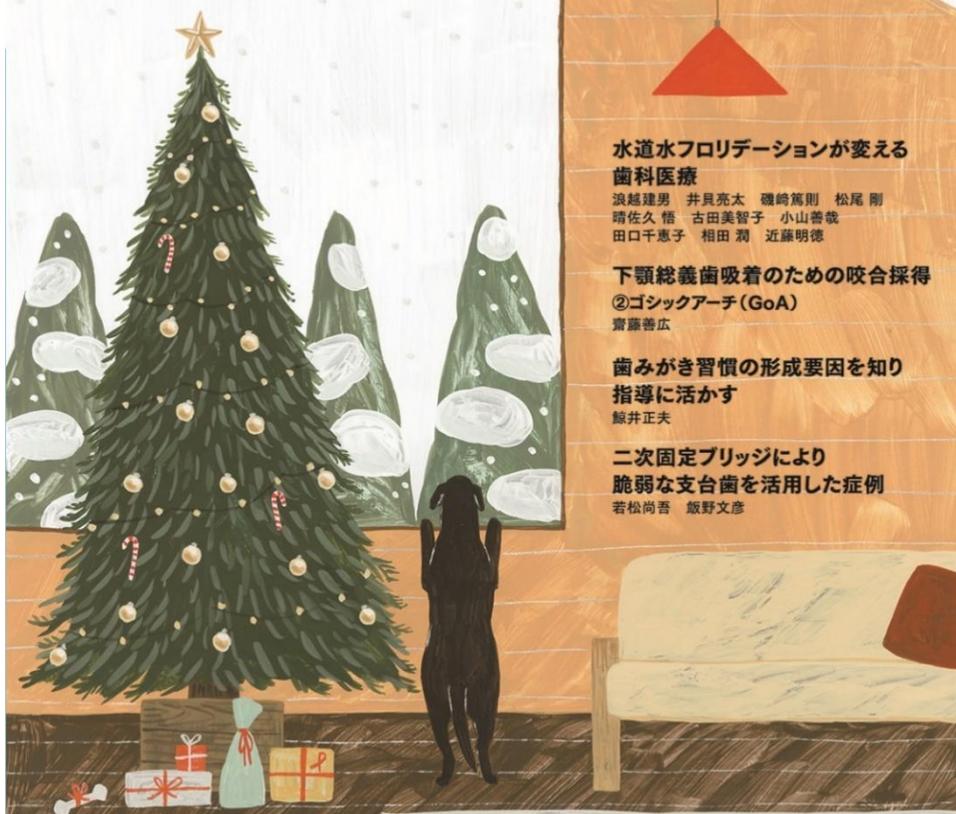
both win!!



DENTAL DIAMOND

2016年12月1日発行(毎月1日発行)
第41巻第16号 通巻610号
ISSN 0386-2305
昭和51年6月2日 第3種郵便物認可

12



水道水フッ化物添加による 歯科医療

浪越建男 井貝亮太 磯崎篤則 松尾剛
暗佐久悟 古田美智子 小山善哉
田口千恵子 相田潤 近藤明徳

下顎総義歯吸着のための咬合採得 ②ゴシックアーチ(GoA) 菅藤善広

歯みがき習慣の形成要因を知り 指導に活かす 藤井正夫

二次固定ブリッジにより 脆弱な支台歯を活用した症例 若松尚吾 飯野文彦

ここまでわかった! 歯周薬物療法

五味一博



「D」フッ化物応用セミナー

水道水フッ化物添加による 変える歯科医療

現在、世界各国の公衆衛生活動において、う蝕予防を目的とした水道水フッ化物添加が行われている。次号では、水道水フッ化物添加の実態が歯科医療にもたらす影響や、海外における現状、歯科医院の経営へのかかわりについてなど、エビデンスに基づいた安全性や、もたらす歯科医療の充実について解説いただく。

～企画にあたって～ 歯科にまつわるわが国の現状 浪越建男¹⁾ *Tatsuo NAMIKOSHI*

水道水フッ化物添加(WF)の基礎知識 井貝亮太²⁾ *Ryota IKAI* 磯崎篤則²⁾ *Asumori ISOZAKI*

世界におけるWF普及状況 松尾剛³⁾ *Masaaki NAGAO* 暗佐久悟⁴⁾ *Satoru HARESAKU*

歯科疾患構造を変えるWF導入のインパクト 暗佐久悟⁴⁾ *Satoru HARESAKU* 井貝亮太²⁾ *Ryota IKAI* 古田美智子⁵⁾ *Michiko FURUTA*

今後の展望① 超高齢社会におけるWFの必要性 小山善哉⁶⁾ *Zensu KOYAMA* 田口千恵子⁷⁾ *Chiho TAGUCHI*

今後の展望② WFは医院経営を健全化する 相田潤³⁾ *Rin AIDA* 近藤明徳⁸⁾ *Akinori KONDO* 浪越建男¹⁾ *Tatsuo NAMIKOSHI*

- 1) 浪越歯科医院 〒769-1403 香川県三豊市仁尾町仁尾丙729-1
- 2) 朝日大学歯学部 口腔感染症療学講座 社会口腔保健学分野 〒501-0296 岐阜県岐阜市柳瀬185-1
- 3) 東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野 〒980-8575 仙台市青葉区星野町4-1
- 4) 福岡歯科大学口腔保健学講座 〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15-1
- 5) 九州大学大学院歯学研究科口腔予防医学分野 〒811-3101 福岡県古賀市天神1-20-2-301
- 6) 長崎大学大学院歯学総合研究科口腔保健学分野 〒852-8588 長崎市家本1-7-1
- 7) 日本大学松戸歯学部公衆予防歯科学講座 〒271-8587 松戸市栄町西2-870-1
- 8) こんどう歯科 〒655-0015 神戸市豊水区野田通4-3

デンタルダイヤモンドによるフロリデーションの特集の流れ

2016年7月29日（金） デンタルダイヤモンド打ち合わせ（東京）

2016年8月末 1次締め切り

アドバイザーによる意見修正

2016年9月末 2次締め切り

2016年10月中旬 最終調整

2016年11月5日 最終仕上がり

2016年12月初旬 発刊

執筆者

ファイル番号		頁	とりまとめ	氏名
0	企画にあたって	1頁	○	浪越 建男
1	第1章 水道水フロリデーション(WF)の基礎知識	1頁		磯崎 篤則
		1頁	○	井貝 亮太
2	第2章 世界におけるWF普及状況	1頁		松尾 剛
		1頁	○	晴佐久 悟
3	第3章 歯科疾患構造を変えるWF導入のインパクト	1項	○	晴佐久 悟
		1項		井貝 亮太
		1項		古田 美智子
4	第4章 今後の展望Ⅰ：超高齢社会におけるWFの必要性	1.5項	○	小山 善哉
		1.5項		田口 千恵子
5	第5章 今後の展望Ⅱ：WFは医院経営を健全化する	2項	○	相田 潤
				浪越 建男
		1項		近藤 明德

アドバイザー

氏名	所属
有田 信一	ありた小児矯正歯科
岩城 倫弘	認定NPO法人ウォーターフロリデーションファンド
川崎 浩二	長崎大学病院地域医療連携センター
黒瀬 真由美	PMJ歯科診療所
小林 清吾	NPO法人日本フッ化物むし歯予防協会(NPO日F)
佐久間 汐子	NPO法人日本フッ化物むし歯予防協会(NPO日F)
田浦 勝彦	NPO法人日本フッ化物むし歯予防協会(NPO日F)
中村宗達	静岡県東部健康福祉センター
山本 武夫	山本武夫歯科医院

～企画にあたって～ 歯科にまつわるわが国の現状

浪越建男¹⁾ *Tatsuo NAMIKOSHI*

水道水フッロリレーション(WF)の基礎知識

井貝亮太²⁾ *Ryota IKAI* 磯崎篤則²⁾ *Atsunori ISOZAKI*

世界におけるWF普及状況

松尾 剛³⁾ *Masataka NAGAO* 晴佐久 悟⁴⁾ *Satoru HARESAKU*

歯科疾患構造を変えるWF導入のインパクト

晴佐久 悟⁴⁾ *Satoru HARESAKU* 井貝亮太²⁾ *Ryota IKAI* 古田 美智子⁵⁾ *Michiko FURUTA*

今後の展望① 超高齢社会におけるWFの必要性

小山善哉⁶⁾ *Zenya KOYAMA* 田口千恵子⁷⁾ *Chieko TAGUCHI*

今後の展望② WFは医院経営を健全化する

相田 潤³⁾ *Jun AIDA* 近藤明德⁸⁾ *Akinori KONDO* 浪越建男¹⁾ *Tatsuo NAMIKOSHI*

2. う蝕数の減少と現在歯数の増加が歯科診療内容をどう変えているか。

う蝕が減少し歯が残る時代になって、補綴治療の割合は減少しているが、**歯周病治療などが増加して、歯科医療費は総額としても増加している。**

2. う蝕数の減少と現在歯数の増加が歯科診療内容をどう変えているか。

過去30年のう蝕と補綴治療の減少および定期管理の増加という変化に適応してきた歯科医師にとっては問題がない。

WFは地域住民の歯をいっそう守り、歯が守られた住民のなかには定期管理を受ける人も増え、結果として歯科医師の収入も守られる、という好状況を生み出すであろう。